

三里塚 ジェット闘争 5日間のストを貫徹

日刊 動労千葉

81.3.15

全日版
No.79

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆)留室(22)七二〇七

三月決戦スト報告・その一

 全国の動労組合員のみなさん！ 動労千葉は、三里塚ジェット燃料暫定貨車輸送延長阻止・三月決戦ストライキを権力・国鉄当局のあらゆる弾圧と「本部」スト破り集団の姑息な敵対を粉碎し、断固貫徹しました。五日間にわたるストライキの爆発的高揚と、闘い抜くことよってさらに一段と強化された動労千葉の団結をもって、今後さらに強められるであろう権力・当局と「本部」スト破り集団一体となった組織破壊攻撃を粉碎し、国鉄労働運動の戦闘的再生！ 動労大改革へ向けて邁進する決意です。

国鉄労働運動の未来を切り拓く闘い

五日間の三月決戦ストがかちとった意義は、
 第一に、改憲―軍事大国化をおし進めるために「国鉄からストライキを一掃する」ということを目的化したこの間の権力・当局の攻撃をはね返し、二〇二億円スト損賠攻撃などをもってする「ストなし国鉄」攻撃に屈服に屈服を重ねている国労・動労中央の路線的敗北を突破し、確固たる指導路線を確立し、指導部がいかなる弾圧をも恐れぬ闘い決意を打ち固めれば、国鉄労働者は決起し闘い抜けるのだということを実証し切ったということです。

国鉄三五万人体制攻撃が現実の職場段階の問題になってきている現情勢下において、闘えない理由を無理にデッチ上げて、労働組合の側から闘いを抑え込むかのようなこの間の指導に対して、職場・生産点の労働者が持っていた怒りが、この三月決戦ストの中にこそ国鉄労働運動の未来があるという展望を見出し出しているのです。

実際、この三月決戦ストの期間を通して、動労千葉の闘いを共に闘うという決意をうち固めた国鉄労働者が、首都圏を中心に全国から結集し、動労千葉各支部で交流会等をかちとっているのです。また、国鉄以外の労働者にとっても、今日の産報化の状況の中で、動労千葉の三月決戦ストへの決起が、真に階級的労働運動への展望を切り拓く道として存在していることは、スト前夜、スト期間中を通して寄せられた多くの支援と連帯の中にはつきりと示されています。

「本部」スト破り集団の実態

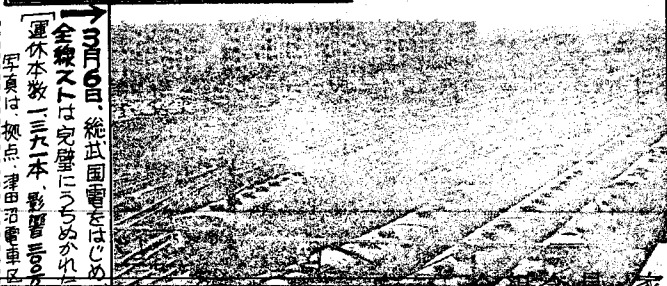
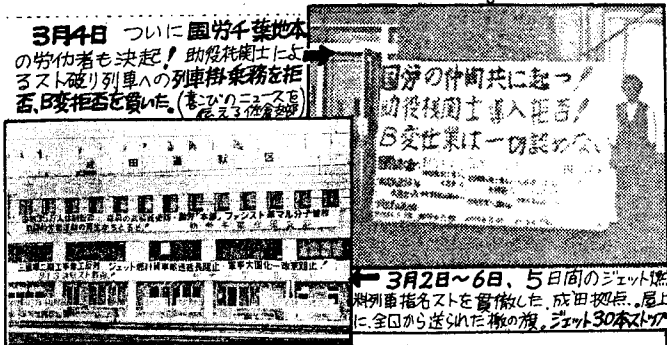
この三月決戦ストがかちとった第二の意義は、この路線的破産がより鮮明に、いかなるデマ宣伝

をもってしてもごまかしようのない形ではっきりと突き出されたということです。

「本部」反動分子がセクト集団のための「反ファシズム」謀略運動に血道をあげ、二〇二億円スト損賠やあらゆる合理化案を当局に売り渡す先兵。合理化の水先案内人・当局の武装親衛隊！ 以外の何者でもないことは、この間の動労千葉の闘いによって満天下に明らかになっています。

「本部」反動分子のこの路線的破産の行き着く先がスト破りしかないということが三月決戦ストの中の職場・生産点で見事に現実化しているのです。

国労千葉地本が中央の制動をはねのけて、助役機関士を拒否している中で、「本部」スト破り集団の裏切りは、「再建地本の三役・執行委員」が三月一日から十日余も「年休」をとって職場から逃亡するということも含めて、職場・生産点の憤激の的となっているのです。



全組合員 家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

